

## 第2章 高齢化の進展と介護保険の現状



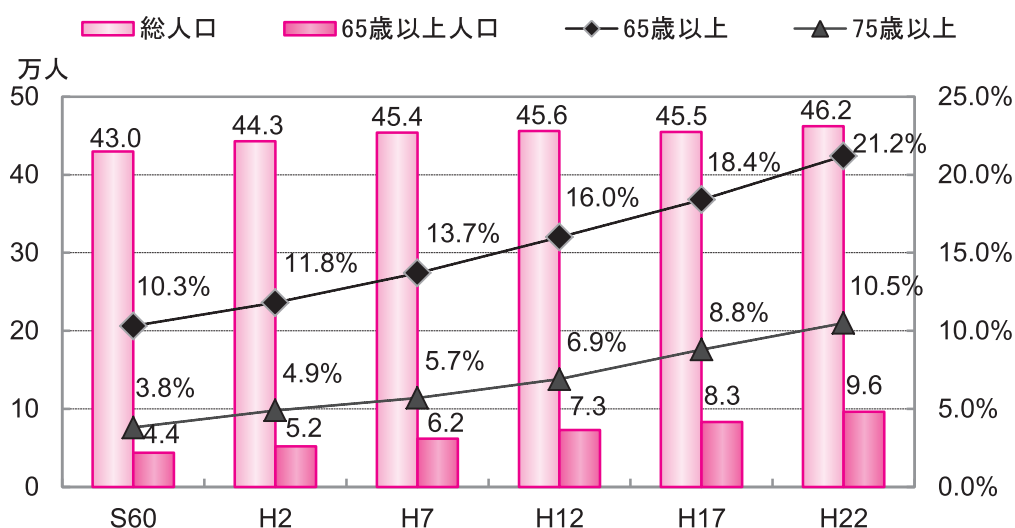
## 第1節 人口及び世帯の現状

### 1 人口の現状

平成22（2010）年度の本市の人口は、約46万人で、そのうち65歳以上の人口は9万6千人（21.2%）を占めています。（図5 平成22年国勢調査報告）

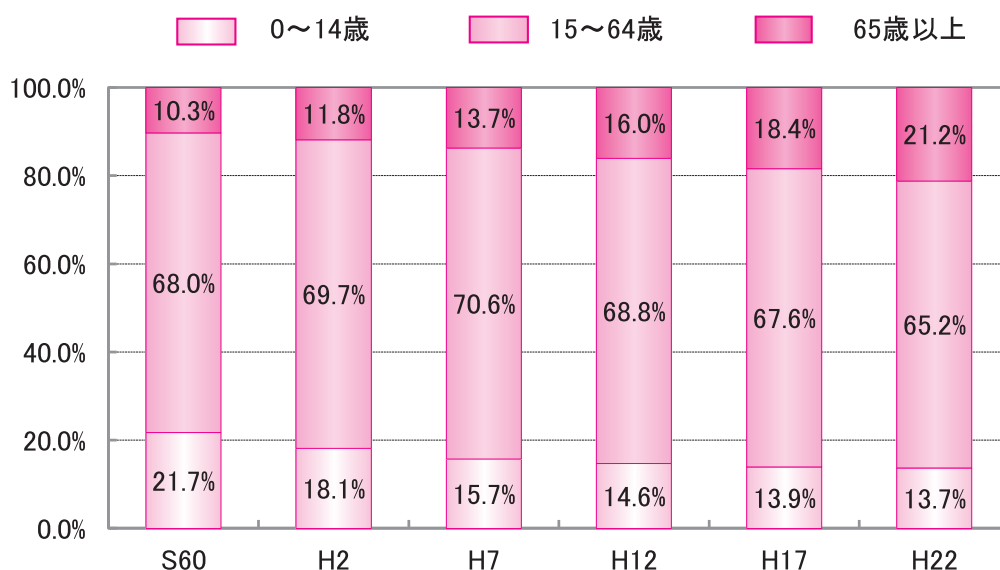
昭和60（1985）年度において、比較的多くの現役世代（15～64歳）で1人の高齢者を支えていた「胴上げ型」の人口構成から、平成22年度には、現役世代の3人で1人の高齢者を支える「騎馬戦型」の人口構成となっています。（図6）

■図5 金沢市の人口と高齢化率の推移



資料：「平成22年国勢調査報告」 総務省統計局

■図6 金沢市の人口の年齢構成比



資料：「平成22年国勢調査報告」 総務省統計局

## 2 世帯の現状

平成 22 年国勢調査報告によると、本市における一般世帯数は 190,871 世帯で、65 歳以上の親族がいる世帯は 61,812 世帯（32.4%）を占めています。このうち高齢単身世帯は、14,813 世帯（7.8%）、高齢夫婦世帯は 16,834 世帯（8.8%）となっています。（表 1）

■表 1 世帯の状況

区 分		一般世帯	65歳以上の親族のいる世帯			
				高齢単身世帯	高齢夫婦世帯	その他同居世帯
昭和60年	世帯	140,699	32,287	3,809	4,912	23,566
	構成比	100.0%	22.9%	2.7%	3.5%	16.7%
平成2年	世帯	154,257	37,022	5,316	7,597	24,109
	構成比	100.0%	24.0%	3.4%	4.9%	15.6%
7年	世帯	168,833	43,050	7,273	9,380	26,397
	構成比	100.0%	25.5%	4.3%	5.6%	15.6%
12年	世帯	174,888	48,710	9,635	12,030	27,045
	構成比	100.0%	27.9%	5.5%	6.9%	15.5%
17年	世帯	180,776	54,582	12,340	14,218	28,024
	構成比	100.0%	30.2%	6.8%	7.9%	15.5%
22年	世帯	190,871	61,812	14,813	16,834	30,165
	構成比	100.0%	32.4%	7.8%	8.8%	15.8%
参 考	県 (H22)	100.0%	40.2%	8.2%	10.1%	21.9%
	国 (H22)	100.0%	37.3%	9.2%	10.1%	17.9%

資料：「平成 22 年国勢調査 人口等基本集計結果」総務省統計局

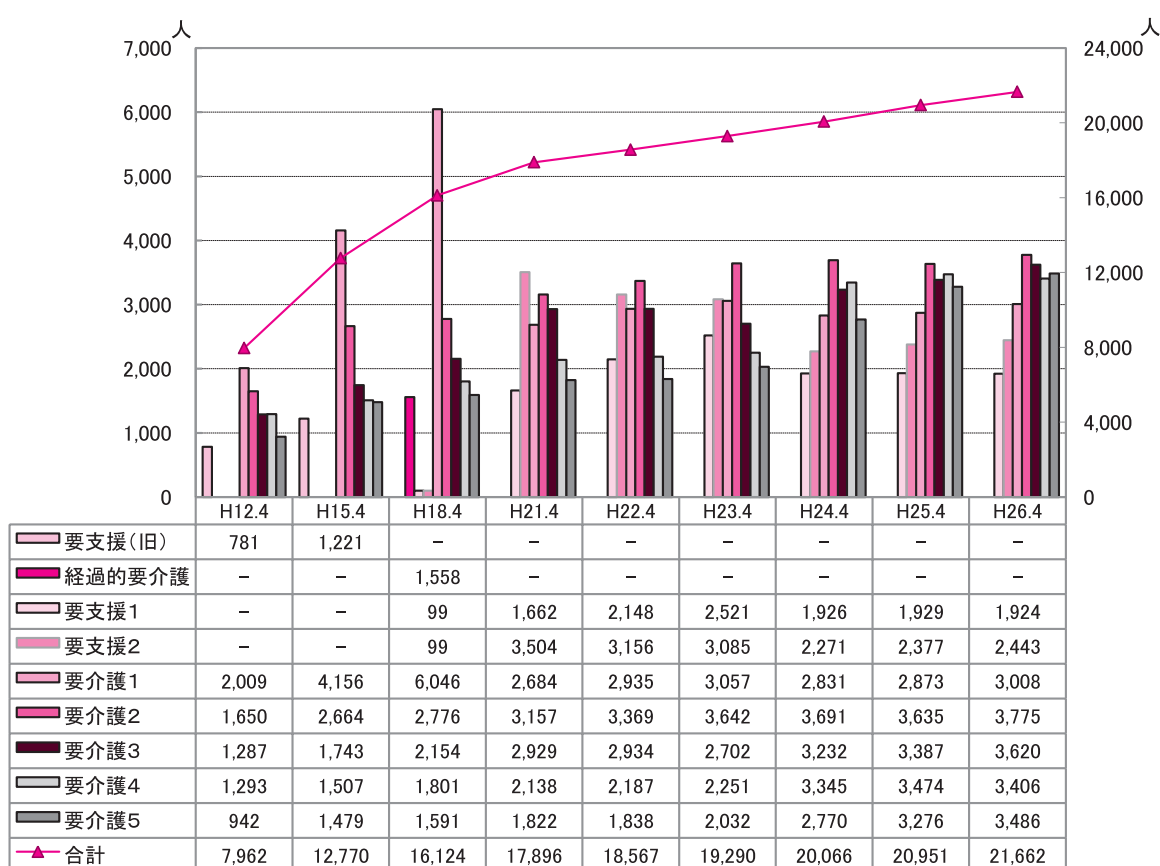
## 第2節 介護保険の現状

### 1 要支援・要介護認定者数の推移

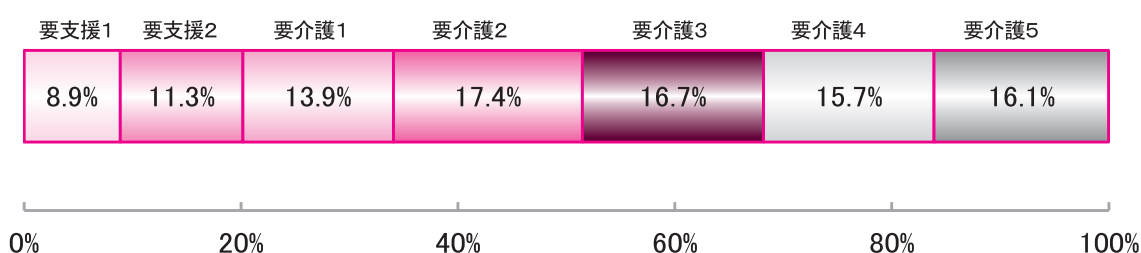
要支援・要介護認定者数の年度別推移を見ると、平成 12（2000）年4月の第1期当初の認定者数は 7,962 人でしたが、平成 26（2014）年4月現在では 21,662 人（約 2.7 倍）と大きく伸びています。（図7）

なお、平成 18（2006）年4月から旧要支援・要介護1の方が、要支援1・要支援2・要介護1に区別されています。

■図7 要支援・要介護認定者数の推移



■図8 要支援・要介護認定者の割合（平成 26 年 4 月）



## 2 介護保険給付費の推移

介護給付費の年度別推移を見ると、平成12年度の居宅サービスの給付費は約41億円、施設サービスは約96億円で、居宅サービスの給付費が全体の約29.9%となっていました。

第2期目の平成15（2003）年度には居宅サービスの給付費が全体の約43.4%となり、第3期目の平成18年度の居宅サービスと地域密着型サービスを合わせた給付費は全体の50.2%に、第4期目の平成21（2009）年度の居宅サービスと地域密着型サービスを合わせた給付費は全体の56.6%に、第5期目の平成24（2012）年度の居宅サービスと地域密着型サービスを合わせた給付費は全体の64.2%となりました。

さらに、平成26年度の給付費は、居宅サービスで170億円、地域密着型サービスで52億円、施設サービスは106億円、居宅サービスと地域密着型サービスを合わせた給付費が全体の約67.7%になることが見込まれており、居宅サービスと地域密着型サービスの利用は年々伸びております。（図9）

■ 図9 介護保険給付費の推移

